

清新の気

学校だより
No. 3

大津市立粟津中学校
平成30年6月11日発行
全校生徒数：504名

長く感じる時間と短く感じる時間

校長 川辺 勉

私たちの生活は、時間によって動いていることが多い。起床時間、就寝時間、登校時間、時間割、下校時間等々、時間によって行動している。時間というものがないければ、生活できない状態になっている。スポーツにも時間は欠かせない。試合時間や速さを競うタイム（時間）等である。何かの行動を起こすときの基準となる時間、正確には時刻であるが、もう1つ過去と現在の間の長さとしての時間もある。

長さを表す時間というものは実におもしろい。私は中学時代に時間というものの不思議さを考えたことがある。感覚的に短く感じたことや長く感じたことについてである。1学期は5月の連休が待ち遠しく早く来ないかと思った。5月になるまで待っている時間は長く、連休の終わりを迎えると「もう終わりか」と時間の短さを感じた。そして次に楽しみだったのが夏休みなのだが、待つ間の1日1日が長かった。夏休みが始まって8月1日になるとあと一ヶ月あると思い、お盆が過ぎるとあと2週間、その頃になると夏休みの宿題をしなければならぬと思いつつもなかなかできず、日が迫ってくるので時間のたつのを早く感じたものだった。

授業も同じように感じたことがある。先生が話をしているとき、勉強で苦しんでいた私にとって50分間の授業がとても長く感じた。教室の時計を見て、針の動きが遅いと感じられるのは、どうしてなのか不思議だった。

時計の針の動くスピードはいつも一定だし、1日の時間も毎日同じであることはわかっているけれども長く感じたり短く感じるのはなぜか。

中学生の私は「楽しみを待つ時間」（夏休みを待つ）と「苦しみを感じている時間」（授業の内容がわからない）が長く感じ、「楽しい時間」と「楽しさを感じている時間」（授業の内容がわかるとき）は短く感じるのだと気付いた。

「時間」と「楽しさ（苦しさ）」の関係で生じる「感じ方」が時間差の意識を生んでいるのではないかというのが疑問に思ったことへの答えであり、私にとって時間の大切さを考えるスタートになった。1日1日の時間を大事にしてください。

修学旅行（東京・伊豆高原）

Make the best memories

～深めよう クラスの輪 感じよう 東京の街を～
5/30～6/1

5月30日から6月1日は、3年生が楽しみにしていた修学旅行でした。1日目は、伊豆高原での自然体験学習でしたが、あいにくの雨でパラグライダー等が中止になり残念でした。しかし、ドルフィンスイムなど普段経験できない体験に、みんな笑顔に包まれました。その後は、ペンションに分宿しました。ペンションでは、オーナーさんの料理をおいしくいただき、クラスの仲間とともにペンションライフを満喫しました。2日目は、天気が心配されましたが、雨に降られることもなく、都内を班別に自主研修したあと、ディズニーランドで夜まで大いに楽しみました。3日目は、うってかわって晴れになりクラスごとにコース別研修を行った後、学校へバスで帰路につきました。あっという間の3日間で、スローガンのとおり、最高の思い出をつくることができました。

【自然体験】

ドルフィンスイム



にぎり寿司体験



【都内班別自主研修】



【ディズニーランド】



【クラス別選択学習】



がんばる生徒会

5月28日(月)5・6校時に生徒総会が開かれました。1年生を新たに迎え、「栗津愛～栗津を『あい』でいっぱい～」のスローガンが提案され、全校生徒で確認しました。このスローガンの「あい」には支えあい、あいさつ、学びあい、高めあいなど、さまざまな意味が込められています。その後、各委員会の活動方針や予算の提案が行われ、多くの質問や意見が出されました。

今年も活発な生徒会活動を繰り広げてくれるものと期待しています。

めざせ！あわんちゅ！！

<生徒総会の様子>



ユニセフ募金の結果のお知らせ

生徒会福祉環境委員会が、5月10、11、15日の3日間、アフリカ干ばつに対する緊急募金を行い、みなさんの協力により5,282円を集めました。

このお金をユニセフへ寄付しました。このたび、感謝状をいただきました。



保護者の皆様へ

保護者の皆様には、すでに報道等でご承知のように、本校プールのシャワーヘッド等が盗まれる事態が発生しました。すぐに警察や市教委とも連携し対応しました。ご心配をおかけしましたが、現在シャワーヘッドも復旧し、今後の授業や部活動への影響はありません。

何とぞご理解いただきますようお願いいたします。

2年生は職場体験学習へ 6/28~7/4

早くから準備を進めてきた職場体験学習ですが、6月1日(金)には、事前学習の一環である「working講座」を行いました。この講座では、各クラスに企業の方をお迎えし、「働くとはどういうことか」直接お話しを伺いました。あらためて「働く」ことについてじっくりと考える機会になりました。

今後は、事前に職場を訪問して打ち合わせを行う予定で、いよいよ5日間の職場体験学習本番を迎えます。普段学校で学習することと違い、「働く」ということを実際に学ぶ学習です。将来は誰もが働くわけですからしっかりと取り組んでほしいと思います。ご家庭でもぜひ様子を聞いてあげてください。

今回受け入れにご協力いただきました事業所の皆様ありがとうございました。

< working 講座の様子 >



第1回校内研究会 6/5

本校では、市内でもいち早く「学び合い」の授業に取り組み始め、この13年間、毎年研究会を実施しながら授業改善に努めてきました。

今年も6月5日に、「魅力ある教育実践の挑戦ー『対話』と『協同の学び』を軸にした学校づくりー」を研究テーマに、第1回の校内研究会を実施しました。2～5校時の公開授業の後、6校時には2年5組で社会科の研究授業を行いました。多くの先生が参観する中、真剣な表情で課題に向き合う皆さんの姿に感心しました。

このような取り組みは、これからも学期に1回ずつ実施する予定です。2学期、3学期にはさらに成長した栗中生の姿に期待しています。

